

Proofpoint Track

データ送信の調整とコントロール：今日のコンプライアンスや法務のニーズに対応した、信頼性の高い調整、監査、制御を提供

主なメリット

- キャプチャしたコミュニケーションやメッセージコンテンツがダウンストリームサービスで正常に受信されたかどうか検証できます
- キャプチャしたコンテンツを、各コラボレーションプラットフォームソースからのアップストリームマニフェストと比較して調整します
- コンプライアンスと真正性を証明するレポーティングで監査を簡素化します
- 各アーカイブ、監督、eDiscovery、またはサードパーティのデータリポジトリに送られるコンテンツを一元的に制御します
- SMTPを受信できるどのようなサービスにも使用でき、プレーフポイントの仕様に対応した取り込みレポートを提供します

Proofpoint Digital Communications Governance製品ファミリーの一製品であるProofpoint Trackは、すべてのコミュニケーションの監査と監視を行い、ダウンストリームのアーカイブに保存する、一元的なハブです。キャプチャストリームの制御と完全な可視化を実現データ調整に対するエンドツーエンドの保護を備えています。また、送信されたあらゆる記録がデータストアに保存されるようにします。

Proofpoint Trackは、最も厳格な規制コンプライアンスや訴訟要件に対応しなければならない組織にとって最適です。監査プロセスを簡素化します。内蔵のフィードバックループや監査レベルのレポート機能を備えています。また、調整レポートにより、すべてのメッセージが配信され、アーカイブに保存されていることを示し、正当化することができます。

Proofpoint Trackは、Proofpoint Archiveと共に使用できます。また、Trackの要件に従って、ダウンストリームの取り込みレポートを提供できる、サードパーティストアと共に使用することもできます。

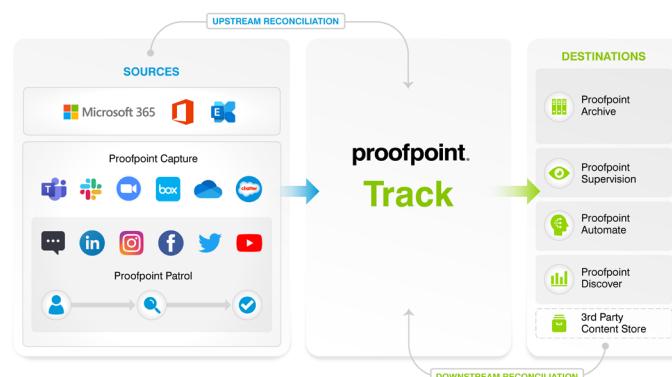


図 1 : Proofpoint Track 情報フロー

このソリューションは、人に起因する4つの主要リスクを低減する、プレーフポイントのHuman-Centric Security統合型プラットフォームの一機能です。



仕組み

Proofpoint Trackは、SMTP経由で配信されたデータを処理します。データには、メール、インスタントメッセージ、メッセージングアプリ、動画/音声、ソーシャルメディアなどが含まれます。

Proofpoint Trackがソースアプリからコミュニケーションを受信すると、各メッセージのコピーを保存します。各メッセージには一意の識別子を割り当てます。また、アップストリームマニフェストからのすべてのメッセージのログを作成した後、サポートされているダウンストリームのアーカイブに、監督、または分析のシステムに送信します。

続いて、Proofpoint Trackは、データがアーカイブされることを示す確認を待ちます。ファイルが見つからないなど、失敗した場合、Proofpoint Trackは配信を再度試みます。手動の調査が必要となる前に、何度も行うことができます。

すべての転送の詳細は、監査ログとレポートで文書化されます。

リスクの低減

Proofpoint Trackを使用すれば、以下により、コンプライアンスリスクを低減できます。

- **自動化された1対1の調整レポート**: サマリと詳細レポートを提供します。各ダウンストリームのプロバイダーに送信されたものを確認できます。これは、必要に応じて完全なキャプチャの証拠となります。
- **メッセージの自動再送信**: 最初の試行でダウンストリームに取り込まれなかったメッセージの再送信を試すことができます。
- **柔軟なコンテンツフィルタリング、ルーティングハブ、ルールベースのエンジン**: これらの機能は、複数のダウンストリームサービスを使用する組織のためのものです。さまざまな地域やビジネスグループ向けに個別のアーカイブを含めることができます。アーカイブとは独立した、監督またはeDiscovery分析サービスを含めることができます。
- **正規化されたメールフロー**: パフォーマンスが低下しているメールシステムを補完します。長期間メールフローのピークを分散させます。これにより、ダウンストリームのシステム容量に合わせることができます。
- **ソースからストレージのデータアシュアランス — 調整を拡大**: キャプチャされたコンテンツがソースからアップストリームで受信されるようにします。Compliance Gatewayのコンテンツフローは、各ソースチャネルのすべてのコミュニケーションのマニフェストに対し比較され、見つからないコンテンツがないかを探します。ソースチャネルは、Exchange、LinkedIn、Teams、X、Zoomなどを対象としています。
- **明確かつ完全な監査レポート**: 対象アーカイブまたはストレージプラットフォームへのダウンストリームの最終送信は記録され、修復されます。続いてダウンストリームの調整監査レポートにログが記録されます。

詳細はこちら：<http://proofpoint.com/jp>

Proofpoint, Inc.は、サイバーセキュリティのグローバル リーディング カンパニーです。組織の最大の資産でもあり、同時に最大のリスクともなりえる「人」を守ることに焦点をあてています。ブルーフポイントは、クラウドベースの統合ソリューションによって、世界中の企業が標的型攻撃などのサイバー攻撃からデータを守り、そしてそれぞれのユーザーがサイバー攻撃に対してさらに強力な対処能力を持つよう支援しています。また、Fortune 100 の 87% の企業などさまざまな規模の企業が、ブルーフポイントのソリューションを利用しており、メールやクラウド、ソーシャルメディア、Web関連のセキュリティのリスクおよびコンプライアンスのリスクを低減するよう支援しています。詳細は www.proofpoint.com/jp にてご確認ください。

©Proofpoint, Inc. Proofpointは、米国およびその他の国におけるProofpoint, Inc.の商標です。記載されているその他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。